

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：浦安市立浦安小学校



担任名：吉田 圭之介

教員経験：11年目

(令和7年10月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

学習、行事、学級活動を通じて、児童の興味・関心を引き出し、子どもも主体の活動の場を広げています。児童一人一人に成長がみられたとき、教職のやりがいを感じます。

授業で心掛けていること

生徒指導の実践上の視点を生かしつつ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、まずは、自分の考えをもち、ペアやグループで伝え合う場を各教科等で設けるようにしています。

私の好きな「言葉」

「子どもの夢と願望はすべての人間の基本」
遊び心と向上心を忘れず、しなやかに生きることを心がけています。

【メディアセンターの効果的活用】

本校には、学校図書館とPC室の機能を統合した「メディアセンター」が整備されています。

メディアセンターでは、書籍とインターネットを組み合わせ、より効果的で深い調べ学習に子どもたちが主体的に取り組んだり、大型提示装置を活用し、発展的・協働的な学習やプレゼンテーションの学習を行ったりすることができます。

右の事例は、理科の単元「土地のつくりと変化」において、図書資料とGoogle Earthを使って世界のあらゆる地層のつくりを調べ、地層の重なりや広がりを捉える学習を展開したものです。

児童が見付けたあらゆる地層を、大型提示装置で提示することで、細部まで地層の様子の観察が可能となりました。観察して気付いたことや疑問点を出し合い、学習問題の設定と学習計画づくりができました。

○ 個別で調べ学習に取り組む

図書資料



Google Earth



○ グループごとに共有

個々の児童が、様々な視点から図書資料やインターネット資料を集め、集めた資料を自分なりに取捨選択し、まとめるという過程を大切にしながら、対話・共有するようにします。

○ 大型提示装置で全体共有

図書資料はタブレット端末で撮影し、Google Earthで見付けた資料はスクリーンショットして、Teamsに投稿します。その後、全体で共有します。

担当：企画管理部 教育政策課